

実施事業概要一覧

資料4

事業名	【生活経済課】武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	1-1
目的	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信	1-2
事業内容等	市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信のため、参加団体による活動内容(研究成果)の発表と展示、講師による消費生活関連の講演などを行う。	2-4 2-5 4-1
事業名	【市民活動推進課】男女平等推進センター事業	1-1
目的	男女平等推進センターの運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市の男女平等推進事業を推進する。	1-2
事業内容等	事業に係る学習講座、講演会等の企画及び運営、女性に対する暴力をなくす運動に係る事業の企画及び運営	2-1 2-5
事業名	【市民活動推進課】男女共同参画週間事業	1-1
目的	男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発と関係団体の育成及び関連市民団体のネットワークづくり	1-2
事業内容等	むさしの男女共同参画市民協議会を中核とする関係団体や市民で構成する実行委員会に委託し、男女共同参画週間(6/23~29)に合わせて「男女共同参画フォーラム」を実施する。記念講演会1回、講座、上映会、パネル展示などを実施。	2-1 2-4 2-5
事業名	【市民活動推進課】男女平等推進団体活動補助事業	
目的	男女共同参画推進登録団体が行う男女共同参画社会の実現にむけた公開講演会などの活動に対して、その経費の一部を補助することで、団体の活性化及び施策の効果的な推進を図る	2-3
事業内容等	男女共同参画をテーマとする研修会・講演会などで公開のもの、男女共同参画をテーマとした研究及び調査、男女共同参画社会の実現にむけて、公共機関が実施する研修会、研究会等への参加等に対して、1団体1回5万円を限度に補助する。	
事業名	【市民活動推進課】特定非営利活動法人補助金交付事業	
目的	団体の健全な発展を促進し、公益の増進に寄与すること	2-3
事業内容等	主に、講演会・シンポジウム・講習会・研修等の開催に要する経費、調査に要する経費、その他市長が特に必要と認めた経費について、1団体1事業20万円を上限として補助する。交付団体及び交付額は、3名の外部委員による公開プレゼンテーションと審査会により市長答申・決定する。交付決定団体には、12月に交流会、3月に実施事業の報告会を実施。	2-5
事業名	【市民活動推進課】むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業	
目的	男女共同参画施策の推進を図る	2-4
事業内容等	母親講座、メディアリテラシー講座、市内大学でのデートDV出前講座等の企画・実施。男女共同参画推進団体相互の理解・連携を深める懇談会の実施。	
事業名	【市民活動推進課】コミュニティ講座(コミュニティ未来塾むさしの)	
目的	対話やコミュニケーションをとりながら、コーディネーションやファシリテーションについて学ぶ。	2-6
事業内容等	さまざまな団体が連携してコミュニティづくりを進めるため、コミュニケーションを円滑に進める能力やコーディネーション・ファシリテーションについて学ぶ場として、市と武蔵野市コミュニティ研究連絡会の共催で第1期の講座となる「地域をつなぐコーディネーター養成講座」を開催。コミュニティ協議会、地域の団体・個人、市職員、武蔵野プレイス職員が参加して実施。	4-2
事業名	【市民活動推進課】コミュニティ協議会活動補助事業	
目的	コミュニティづくりを行うコミュニティ協議会の活動に要する経費を補助し、市民による自主的なコミュニティづくりを支援する。	3-2
事業内容等	管理運営は、市民によって組織されている各地域のコミュニティ協議会が行っている。コミセンを拠点として、「自主参加」「自主企画」「自主運営」という「自主三原則」に基づき、コミュニティ協議会が地域のコミュニティづくりのための様々な活動を行っている。コミュニティ協議会の活動を支援するため、補助金を交付している。	
事業名	【防災課】避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	
目的	「災害時は自助・共助・公助の連携」が重要なことから、各地域の避難所運営組織の活動を積極的に支援する。	1-1 2-4
事業内容等	各避難所運営組織(13団体)が実施する会議、訓練企画、防災訓練、地域に対する防災知識の啓発活動等に対して、職員の派遣、事例の紹介、物品の提供・貸与、資料の作成などを実施。	4-1
事業名	【環境政策課】むさしの環境フェスタ	
目的	市民に環境に対する関心を持つきっかけを提供し、環境に配慮した行動を推進する市民団体、事業者に活動機会の場を提供する	1-1 1-2
事業内容等	市民団体や事業者等による活動紹介の展示や参加型の体験企画、市内市立小学校の児童の夏休み自由研究作品の展示、各種セミナー等を実施。	2-1 2-4 2-5
事業名	【環境政策課】地域猫対策協働事業	
目的	生活公害となる糞尿被害や鳴き声に対する改善をはかり、人と猫が快適に共生するまちづくりを推進する。	1-1
事業内容等	餌やりには後片付けと糞尿清掃が必須であることをPRするとともに、繁殖防止のために、保護した猫の不妊去勢手術費用の一部助成をむさしの地域猫の会へ行う。また、会員が保護した猫の譲渡会を年2回市と共催で実施、飼い主のいない猫の減少を図る。青空市等、市の行事に参加して、地域猫活動のPRを行う。	
事業名	【クリーンセンター】武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	
目的	クリーンセンターの運営について市民の理解を得ることと、武蔵野クリーンセンター運営協議会の活動を周知するため。	1-1 1-2
事業内容等	ワークショップを開催し、NPOや運協委員、市職員が来場者に対して各種の環境に関する学習の場を提供するとともに、クリーンセンターパネル展示、施設見学ツアー、エコバッグづくり、クリーンむさしのを推進する会展示、野菜販売などを実施した。	2-1 2-5 4-1

事業名	【ごみ総合対策課】ごみ減量協働事業	
目的	ごみ減量について市民の意識向上や主体的な取り組みの促進を図り、同時に組織の活性化や活動資金の確保が行われること	1-2
事業内容等	ごみ減量の主体として大きな役割を担う市民・市民団体に委託し、イベントをとおしてのごみ分別指導、分別案内所の運営、ごみ減量情報紙等の配布、ごみ減量に関する講座を行う。①青空市・桜祭りにおけるごみ分別指導②転入者を対象にごみの分別・出し方やごみ減量に関する啓発を実施③ごみ減量情報誌配布④3R連続環境講座を実施。	2-1
事業名	【緑のまち推進課】武蔵野市緑ボランティア団体事業助成	
目的	市内における緑豊かな生活環境を確保すること	2-3
事業内容等	市と協定を結んだ、市立公園等を拠点として緑の保全、緑化推進及び公園等の維持に関するボランティア活動を行っている団体の活動の発展を促し、その緑ボランティアの団体事業経費の一部を助成する。1団体あたり上限を20万円を限度とする。	
事業名	【高齢者支援課】高齢者食事学事業	
目的	高齢期の栄養についてのアドバイスや食べること・作ることを市協力栄養士による料理講習会、講演会を通して学ぶ。	1-1
事業内容等	高齢者食事学研究会に委託し、協力栄養士による高齢者対象の「生活習慣病予防料理講習会」、「介護者のための料理講習会」、「男性のための料理講習会」、「地域会食会・栄養相談会」の各種料理講習会を開催。また、講習会を卒業した人の中から、自主的な活動を希望する市民のために自主グループの立ち上げとその運営について支援する。	
事業名	【子ども政策課】子育て支援講習会	
目的	多様化する子育て支援ニーズに対応するため、地域の保育サービスの担い手を養成するための講習会を実施する。	1-1
事業内容等	財団法人女性労働協会が定めるカリキュラムにより、地域の保育サービスの担い手として関わるための基礎知識を学び、24時間の全過程を修了した者には修了証書を授与。	
事業名	【子ども政策課】子育てひろばボランティア養成講座	
目的	市主催の親子ひろば事業で活動するボランティアを養成する。現代の子育てを取り巻く状況を学び、地域における親子の多様な居場所(ひろば)の必要性を感じることで、受講者自身が新たな居場所やサークルを創出してみようとする気持ちを促す。	1-1 2-4
事業内容等	「子育てひろば」など子育て中の親子を支援する場で役に立つ基礎知識を習得するための講座を実施。受講者は市主催の「子育てひろば」にボランティアスタッフとして参加できる。	
事業名	【子ども政策課】子育てフェスティバル	
目的	子育ては楽しいものであると感じてもらうとともに、子育て支援関係の施設や団体の取組等の情報を発信する。来場する子育て家庭が直接子育て支援団体等の活動に接してもらい、つながってもらう。子育て支援関係の施設や団体同士がネットワークを強化し、さらなる連携を進めるきっかけにしよう。	1-2 2-1 2-5 4-2
事業内容等	子育ては楽しいものであるということを感じてもらえるイベントとして、遊び場の提供、保健相談、救急法講習、栄養相談、地域の子育て支援事業の紹介(パネル展示、リーフレット配置)などを実施。	
事業名	【子ども政策課】まちぐるみ子育て応援事業	
目的	地域社会全体で子育て家庭を支えていく気運を醸成し、子育て家庭が心地よく過ごせるようにするとともに、商業の活性化を図り、「まちぐるみで子育て家庭を応援するまち武蔵野」を推進する。	2-3 4-1
事業内容等	「地域の店舗(企業)、団体、施設、行政などが協働し、まちぐるみで子育て家庭を応援する事業」を企画提案し、実施する団体に補助金を交付する。	
事業名	【子ども政策課】子育てひろばネットワーク会議	
目的	子育てひろばの運営主体同士で、「①情報交換を図る」ことで、「②地域の課題と情報を共有」し、適切な支援につないでいく。また各ひろばでは、「③専門機関へつなぐ」ことも求められることから、子育てひろばと専門機関との連携体制を強化する。	2-5
事業内容等	子育てひろばを運営・実施している施設や機関、団体関係者でネットワークを構築し、情報交換や先進事例の報告、スキル向上のための研修会等を実施する。	
事業名	【児童青少年課】中高生リーダー講習会	
目的	地域社会の指導者としての役割を担える人材を育成するため、市内在住・在学の中高生を対象に、養成講座を実施する。	1-1 2-4
事業内容等	講座受講者は、むさしのジャンボリーでのサブリーダーや保育体験、地域の様々な活動を通して、その力を身につけていく。	
事業名	【まちづくり推進課】武蔵境ピクニック	
目的	武蔵境南北の市民交流と地域活性化により、住みよいまちづくりをすすめるため	4-1
事業内容等	武蔵境商店会連合会、大学、武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会、境・境南地域の青少年問題協議会地区委員会・地域社会福祉協議会・コミュニティ協議会等から選出された人が参加している実行委員会によるイベントに支援を実施。①スタンブラーショーピング②市民団体、小学校、大学による芸能・演奏・合唱・ダンス等のステージ上での催し物③各国料理等の模擬店。	
事業名	【住宅対策課】良質な住まいづくり活動助成事業	
目的	団体の活動の健全な発展を促進し、良好な住宅及び住環境の形成を図ること	2-3
事業内容等	助成対象活動に要する費用のうち、講演会、講習会、相談会及び見学会の運営に要する経費(助成対象活動を行う団体の人件費及び事務所の維持管理に要する経費を除く)について、1団体につき年間10万円を限度とする。	
事業名	【生涯学習スポーツ課】生涯学習事業事業費補助金	
目的	生涯学習活動団体が、団体構成員のための活動にとどまらず、広く市民に向けて武蔵野市らしさを活かした生涯学習の場を提供するため	2-3
事業内容等	「武蔵野市らしさを活かした生涯学習事業」を団体企画の生涯学習事業として募集・評価し、社会教育委員で審議・選定。事業開催のための費用負担や会場確保や広報など必要な支援を行う。1団体1事業50万円が上限。平成27年度までは生涯学習プロポーザル事業として実施。	

事業名	【生涯学習スポーツ課】武蔵野市子ども文化・スポーツ団体支援事業費補助金事業	
目的	団体が日頃の活動では取り組むことが難しい事業の実現を図り、もって子どもの体験活動の活性化に寄与すること	2-3
事業内容等	公募型補助金事業。本市「子ども文化・スポーツ・活動体験基金」を原資とし、平成26、27年度は試行事業として実施。平成28年度本格実施予定。1団体1事業50万円上限。	
事業名	【生涯学習スポーツ課】むさしのサイエンスフェスタ	
目的	身近な科学実験を体験することで、子どもたちに科学の不思議と面白さを感じてもらい、理科への関心や学ぶ意欲を向上させる。	2-5 4-1
事業内容等	市立小中学校教員や地域ボランティア、企業、大学等による体験型実験ブースを展示する各ブース出展者で構成する実行委員会を組織し、市教育委員会と共催。実行委員会は出展内容を決定し、市は経済的に支援し、実行委員会の運営を補助する。	
事業名	【図書館】文庫活動助成事業	
目的	一般市民に図書館資料の魅力を紹介すると同時に、文庫活動をPRし、文庫会員相互の交流・研修の場とする。	2-4
事業内容等	文庫連絡会に参加している団体に、児童サービス事業の一端を担ってもらうため、文庫連絡会全体の事業として、文庫会員向け講座や講演会を図書館と共同で開催している。	
事業名	成蹊大学・亜細亜大学との包括連携協定	
目的	人的交流、情報共有および物的活用を図り、相互に協力して人材育成と地域社会発展に寄与すること	4-1
事業内容等	これまで市と両大学とは、武蔵野地域自由大学事業、武蔵野地域五大学共同事業、各種委員会への委員就任、市のイベントへのボランティア協力、小・中学校教育、スポーツ活動の支援などで相互に協力してきた。協定によりこれまでの協力関係をより一層深め、地域課題の解決を通じて新たな人材育成と豊かな地域創造を推進していく。	
事業名	職員向けコーディネート力向上研修	
目的	地域と行政、関連団体と行政など多様な主体が連携して市政の課題にあたる際に必要なコーディネート力について理解を深め、地域等との連携を身近なものにとらえ、日々の業務に生かすきっかけとすること	4-2
事業内容等	最近の施策における市民団体等との連携の実例を検討し、事業の担当職員による事例報告と参加者同士の意見交換を実施した。	
事業名	【ブレイス】市活人展	
事業内容等	7名の市民活動をしている「人」に着目したパネル展示を行い、市民活動を行っている方を紹介し、市民活動への理解促進を図る。合わせて、ブレイス市民活動支援機能の紹介パネルも展示。	1-1 1-2 3-1
事業名	【ブレイス】講演会	
事業内容等	市民活動への理解促進のための講演会等を実施。様々な活動を行っている人の人柄や活動に対する思いを知り、市民活動を身近に感じてもらう。平成29年度は、市民の手で仲間共に学校外の子どもの居場所、フリースクール「東京シューレ」を設立・運営している奥地圭子氏を講師に招き、「社会を変えたいと思ったとき、私はこう動いた。」と題してどのように問題に取り組み、活動を続けてきたのか、社会課題への踏み出し方や市民活動の広がり方についてお話しいただいた。	1-1 1-2 3-1
事業名	【ブレイス】ニュースレター発行	
事業内容等	武蔵野ブレイス市民活動フロアの事業や関連本の紹介、団体のイベント情報等をお知らせする広報紙を発行。毎月1000部発行。	1-1 1-2 2-1 3-1
事業名	【ブレイス】市民活動情報コーナー	
事業内容等	市民活動情報コーナーを設置し、市民活動に役立つ書籍、市民活動団体情報等を収集整理し、それらを閲覧に供す。市民活動団体ファイル、チラシ、助成金情報等、市民活動関連情報を置いている。	1-1 2-1 3-1
事業名	【ブレイス】市民活動の森	
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体が日頃行っている活動を紹介するパネルをギャラリーに展示し、団体の活動に関する理解や共感を得るためのPRの機会とする。	1-1 1-2 2-1 2-4 3-1
事業名	【ブレイス】市民活動学校	
事業内容等	団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。登録市民活動団体自身が講師となり、市民活動団体が日頃行っている課題やテーマ等に関して、一般の方に向けて直接講座等を行うことで双方向の交流の場を目指している。29年度は6団体。	1-1 1-2 2-1 2-4 2-5 3-1
事業名	【ブレイス】市民活動マネジメント講座	
事業内容等	市民活動団体の活動、運営に関する知識や実務に役立つ講座を実施。①会計財務②組織運営③広報④コミュニケーション技術⑤法人設立について実施。	2-1 2-2 2-4 3-1
事業名	【ブレイス】情報ステーションの運営	
事業内容等	情報ステーションに全ての登録市民活動団体情報を公開し、団体自らが活動状況の更新や情報発信できる環境を提供する。武蔵野ブレイスホームページ上のシステム。市民活動情報ステーションを活用してもらい、団体のイベント情報などを公開できる。	2-1 2-4 2-6 3-1

事業名	【プレイス】市民活動団体企画講座	
事業内容等	環境、教育、福祉、災害、まちづくりなど、社会や地域の課題に取り組んでいる登録市民活動団体から、市民への気づきを促し、課題解決の実践につながる事業のアイデアを募集し、市民活動団体企画講座として実施する。企画については選考のうえ決定。1団体上限5万円で3団体まで。	2-4 3-1
事業名	【プレイス】相談事業	
事業内容等	常駐スタッフによる市民活動に関する相談、専門機関紹介、団体仲介等のコーディネート等を実施する。法人設立に関する相談や定款の書き方、団体紹介等について。	2-2 2-6 3-1
事業名	【プレイス】団体交流事業	
事業内容等	市民活動団体相互の交流を促進することを目的として、市民活動団体相互の交流(団体紹介や課題の共有交換等)により活動のひろがりのきっかけを作る。登録市民活動団体を対象に、団体ミニ交流会(展示ブースを使って団体紹介)等を行う。	2-5 2-6 3-1
事業名	【プレイス】市民活動フロア運営	
事業内容等	市民活動団体登録事業、プリント工房貸出し、ロッカー、メールボックスの貸出し、ワークラウンジなどの対応を行う。市民活動団体登録手続きや市民活動フロア利用案内、プリント工房利用案内、ロッカー・メールボックスの抽選申込、使用料収納、ワークラウンジ開放受付、情報コーナーチラシ、ポスター掲示受付。	3-1
事業名	【プレイス】市民活動フロア懇談会	
事業内容等	市民活動フロアに関して利用者の声を聞く場を設ける。どなたでも参加可能。市民活動フロアや市民活動支援機能に対するご意見等をお茶を飲みながら利用者から伺う。	3-1
事業名	【プレイス】市民活動フロア運営協議会	
事業内容等	市民活動フロアの運営に関して、利用者参画を実現し、利用者ニーズを反映させるための協議会を運営する。市内で活動する市民活動団体の関係者定数10名(29年度は7名)によって構成され、市民活動フロアの事業の企画・実施・評価・設備・その他市民活動の運営上必要な事項に関することについて協議し、武蔵野プレイス事業部長に提言する。	3-1
事業名	【市民社協】ボランティア育成事業	
事業内容等	地域で活動する障がい者のためのボランティアを育成するとともに、障がいへの理解を促進する。 手話講習会(初・中・上級)6クラス各28回 受講者93名、(通訳養成)22回 受講者11名、点訳(入門)講習会 10回 受講者6名、(応用)講習会 10回 受講者6名、夏休み子ども手話教室 3回 受講者21名、失語症会話パートナー養成講座 受講生7名	1-1 2-4
事業名	【市民社協】心のバリアフリー啓発事業	
事業内容等	障がい者支援の基礎知識を学ぶ出前講座を実施し、こころのバリアフリーを促進する。 (28年度実施対象者) 第五小学校(3~6年)、桜野小学校(3・4年)、都立武蔵高等学校(1年)、武蔵野生涯学習振興事業団、みずほ銀行	1-1
事業名	【市民社協】広報誌発行(ふれあい、VMC通信)	
事業内容等	市民の方々に様々な地域福祉事業やボランティア活動に関する情報を提供する。 市民社協だより「ふれあい」:一般市民向け 毎月発行(50000部) VMC通信:VMC(ボランティアセンター武蔵野に登録する個人及び団体向け) 偶数月発行(2,600部)	1-1 1-2 2-1
事業名	【市民社協】お父さんお帰りのパーティー	
事業内容等	定年前後のシニアを対象に、地域での活動のきっかけづくりを目的として開催している。 第18回お父さんお帰りのパーティー平成29年6月11日(日) 参加者:72名 内容:市内施設情報等のスライド上映、参加団体の活動を紹介する展示ブースの見学、団体紹介、音楽演奏、交流会ほか	1-1 1-2 2-5
事業名	【市民社協】お父さんお帰りのサロン	
事業内容等	パーティー参加者のフォローアップ事業としてのおとばサロンを毎月実施している。4/8(ぶらっと歩こう 16名)5/13(宗教の世界史 43名)7/8(落語は奥深く広い! 19名)9/9(絵を楽しむー見る・描くー 20名)10/14(武蔵野DEバードウォッチング 11名)11/11(ふるさと歴史館見学 2名)12/9(認知症はこわくない! ~私たちにもできる認知症予防 16名)1/13(新春書初め交流会 8名)2/10(役立っ!手話 8名)3/10(よくなる!あなたの腰痛 18名)	1-1
事業名	【市民社協】夏!体験ボランティア	
事業内容等	市内在住・在学・在勤の方を対象として夏休み期間のボランティア体験の場を提供することを目的とし、市内の高齢者・障がい者・児童施設やボランティア団体に受け入れの協力をいただき実施している。 実施期間:7/17(月)~8/19(土) 参加者数:160名	1-1 1-2
事業名	【市民社協】入門講座	

事業内容等	◆一からはじめるボランティアさんのためのオリエンテーション 日時:①4/22(土)参加者:1名 ②4/25(火)参加者:1名 ③9/13(水)参加者:4名 ④9/16(土)参加者:1名 ⑤12/13(水)参加者:9名 ⑥12/21(木)参加者:4名 ※⑤⑥は【市民活動はじめて月間】の事業として実施 ◆カメラボランティア講座(全3回と活動体験) 日時:①6/22(木)参加者:11名 ②6/29(木)参加者:11名 ③7/6(木)参加者:11名 講師:hana氏 ◆話し方・聴き方講座～フォローアップ編～ 日時:①11/4(土)参加者:4名 ②11/9(木)参加者:3名 講師:碓氷美香氏	1-1
事業名	【市民社協】協働講座	
事業内容等	ボランティア活動を始めるために必要な知識やスキルを学べる講座をボランティア団体と共同で実施する。 ◆音訳ボランティアを知ろう 日時:①5/11(木)参加者:4名 ②5/20(土)参加者:10名 講師:朗読奉仕の会むさしの	1-1
事業名	【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業	
事業内容等	高齢者の生活を地域で支える新しい共助の仕組みとして武蔵野市が設置する「テンミリオンハウス」の運営を担う市民団体やNPOの活動支援を行っている。定期的な運営状況の確認を行うと共に、各団体からの相談を受け、テンミリオンハウスの運営が安定して行えるよう支援を実施。	2-1 2-2 <u>2-4</u>
事業名	【市民社協】ボランティアコーディネート	
事業内容等	ボランティア依頼に対し、登録されている活動会員(個人・団体)の中から条件に合う会員に活動依頼を行い、依頼者に紹介を行う。また、ボランティア希望者に対し、適切な活動先を紹介する。 依頼件数:207件(紹介128・調整中50・取り下げ18・調整つかず10・他機関紹介1) 交渉した個人数:377人、紹介人数:186人 交渉した団体数:73団体、紹介団体数:30団体	2-2
事業名	【市民社協】ボランティア・地域福祉活動助成	
事業内容等	「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」と「横河・100円募金の会※」からの寄付を財源として、市内を拠点に活動するボランティア・市民活動団体の福祉活動を応援する助成制度。事業に対する単年度助成で、助成金の決定は「武蔵野地区配分推せん委員会」で審査を行う。	2-3
事業名	【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	
事業内容等	市内及び近隣の施設ボランティアコーディネーターを対象にボランティアの受け入れに関する様々な研修やコーディネーター同士の情報交換の場として実施 ◆「ボランティアから愛される施設になるために」講師:野崎 勝也氏(東京ボランティア・市民活動センター)参加者数:12名	2-4 2-5 <u>2-6</u>
事業名	【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座	
事業内容等	地域のさまざまな福祉課題を自ら発信するとともに、その解決に向けた活動を企画し、住民を巻き込みながら実践する「地域福祉ファシリテーター」の養成を行っている。本講座は3市(武蔵野・三鷹・小金井)と各市の社協、ルーテル学院大学の共催により実施しており、ルーテル学院大学の講師が受講生の指導を担当している。	2-4 <u>2-6</u> 4-1
事業名	【市民社協】大学間ネットワーク事業	
事業内容等	武蔵野市内及び近隣の大学ボランティアサークルのネットワークづくりを目的として開催している。 ◆ひろげよう!ボラ友の輪 6/11(日)参加者:37名 ◆大学間ボラ～集まれっ!現代っ子～ 10/1(日)参加者:38名 ◆ボラスマス 12/17(日)参加者:61名	2-5 4-1

※太字及び下線の数字は重点施策